



え~もんみつけ!

～市民レポーターのページ～

小牧・長久手の戦いと秀吉軍の砦を学ぶ!

今年1月から放送されている大河ドラマ「豊臣兄弟!」にちなみ、今回は「小牧・長久手の戦い」で秀吉軍が築いた砦跡を紹介します。小牧山城だけではなく、小牧が歴史上、とても重要な場所であったことを学ぶ、再認識するきっかけになれば、と思っています。

小牧・長久手の戦いでは、1584年3月に家康は小牧山に、秀吉は楽田城へ到着します。4月に入り、秀吉軍が姥ヶ懐（現在の小牧高校と市民会館の間と考えられる）に残つていて、市内ではこの2つの小競り合いがあつたのみで、両軍が砦や土塁などを造り、互いの出方を窺つていたため、大きな戦はありませんでした。

「小牧・長久手の戦い」の中では、白山林の戦い（尾張旭市）、桧ヶ根の戦い

（現在の小牧高校と市民会館の間と考えられる）へ来襲。また、家康軍は二重堀を奇襲したと記録

市民レポーターの皆さん、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月紹介していくコーナーです！



犬山・楽田小学校の横にある、秀吉軍が本陣とした楽田城跡の石碑。城山と呼ばれていたこの帶は、小学校増築の際に削られ、遺構はほとんど失われています。石段を上ると楽田城址という石碑が建っています。

い（長久手市周辺の丘陵地）、長久手の戦い（長久手市）などが良く知られています。6月に入り、秀吉も家康も小牧を去り、その後にも各地で合戦が行われましたが、11月になつて、羽柴秀長により織田信雄・徳川家康と羽柴秀吉との和睦に至り、「小牧・長久手の戦い」は終焉を迎えました。羽柴秀長がどのような戦いに挑んだか、指揮官としてどんな指示をしたのかなど、いう記録はありませんが、きっと小牧において、秀吉の側近として活躍したことでしどう。

秀長がどのように戦いに挑んだか、指揮官としてどんな指示をしたのかなど、いう記録はありませんが、きっと小牧において、秀吉の側近として活躍したことでしどう。



外久保砦

西友・味岡店の交差点を北に向かうと、熊野神社



熊野神社境内の北西奥に久保山の山中へ続く上り坂の小道があり、30メートルほど進むと開けた場

所に出ます。その奥に「久保山砦跡」と刻まれた石碑があります。



石碑のある場所から小牧山を望む

所に出ます。その奥に「久保山砦跡」と刻まれた石碑があります。

小松寺山砦



小松寺山砦の石碑と案内板

小松寺には2つの砦があり、西砦は現在の小松寺あたりに東西15メートル、南北18メートル、東砦は旧小松寺山一帯で南北18メートル四方といふ規模だったと言われています。三好秀次、丹羽長秀が8千の兵を率いていたそうです。秀吉軍の主陣地で、長久手での敗戦の

小松寺には2つの砦があり、西砦は現在の小松寺あたりに東西15メートル、南北18メートル、東砦は旧小松寺山一帯で南北18メートル四方といふ規模だったと言われています。三好秀次、丹羽長秀が8千の兵を率いていたそうです。秀吉軍の主陣地で、長久手での敗戦の

報告もこの小松寺山砦で受けたと言われています。

小松寺には戦いのゆかりの武将たち・池田恒興や森長可一が残した古文書などが保管されています。

砦まで一日で土壘を築いたと語られています。

の駐車場に石碑はあります。

小牧山から近い場所で、堀秀政、細川忠興、加藤光泰などの武将が1万余りの兵と共に守っていました。

岩崎山砦

岩崎山南西端の入り口付近に「岩崎山砦跡」と記された石碑と案内板があります。

規模などは不明ですが、稻葉一鉄・貞通父子が4千の兵と共に守りについていました。岩崎山の標高は54.9メートル。山頂にある熊野社からは南西に小牧山がくつき見えます。

秀吉はこじから二重堀



二重堀砦

二重堀集落の北端・民家に隣接する場所に建つ



一重堀集落の北端・民家に隣接する場所に建つている二重堀砦。秀吉軍の最前線として、東西99メートル、南北72メートル、土壘の高さは1.5メートルの規模だとされています。1584年4月5日、家康軍の奇襲により多数

信長、家康の話題が多い小牧ですが、このように秀吉も多くの足跡を残しています。小牧における三英傑の歴史を、ドラマを機会に学んでみてはいかがでしょうか。

三英傑と小牧

秀吉軍が兵を出した地で、小牧高校と市民会館の間が古戦場と考えられています。市内で秀吉軍と家康軍が戦った場所の一つです。石碑は小さく、判別も難しいほど風化しています。小牧高校北東の用水路にかかる橋の北側の畠脇に電柱と並んで建っています。



姫ヶ懐古戦場跡

の死傷者が出ました。日根野弘就、盛就兄弟が約2千の兵を率いていました。

もっと詳しく知りたい人は…

「小牧・長久手の戦い」での両軍の砦や土壘などについては文化財図書の中の「小牧の文化財 第二十集 小牧の歴史」や、「小牧・長久手の合戦 ガイドマップ」などに詳しく紹介されています。

編集後記



最近は、小牧と言えば織田信長というイメージだったのですが、秀吉の足跡を巡り、小牧ってすごい場所だなあと感じました。また、久保山や岩崎山から小牧山を見て、当時は本当に互いの動きが分かれるような距離感だったのだろうと思うと、戦国武将の緊張感が伝わるようでした。こんな素晴らしい小牧をもつて全国にPRしたい気分になりました。